

環境教育「まず、今できることから」

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市波川町三丁目5番地7
 (波川福祉センター内)
 TEL0561-51-2878



2010/11/13

▲出席者
 八十八名
 最盛況
 会場も盛
 りやまし
 でした

第六回環境フォーラム とパネルディスカッション

平成二十二年十一月十三日(土)午後二時三十分～四時三十分
 波川福祉センター 三階くすの木ホール 参加者八十八名



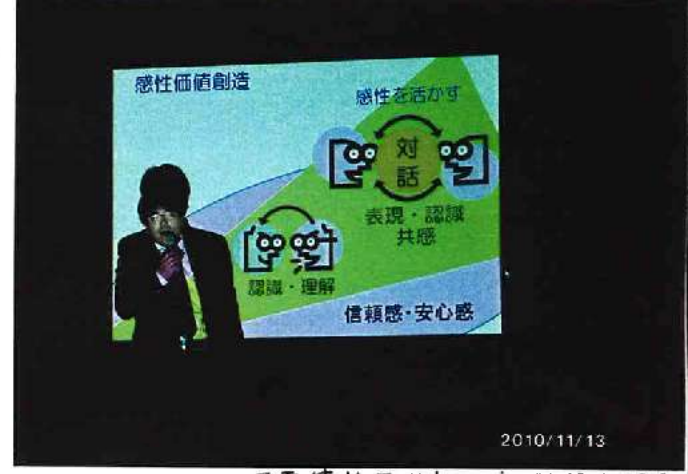
2010/11/13

信進入学
 威住三学課
 教授
 上條三義が講
 演
 子供達に絵
 本で、その中
 から生き物
 感性はものご
 りのうらさあ
 る。
 みえは、ものを
 みる。
 価値感にこ
 らす。
 要らぬ思い
 やし信念を核
 として市場に
 に創出するが
 派からの日本に
 重要に年々
 深まりか。



2010/11/13

贈答品に付ける水引、結び
 とにこそ、魂がそこに宿る
 と考えられていた日本古来の
 結びの徳を習得したものは
 ずす。つまり水引をつけて贈答
 し合うことの根元には、単なる
 物品を贈り合うよりも意識
 は、魂を贈り合うというこ
 ころがあるのです。
 木は水引をみると、そこに私
 たちの祖先が贈る相手との
 人間的な交流を求めようと
 した「こころ」がみえるように
 思っています。
 吉岡
 山田隆幸氏(名古屋短期大学)
 倉田智子氏(基礎作物学研究所)
 上條三義氏(信進入学三学課)
 王置基氏(尾張旭市教育委員)
 松葉清貴氏(尾張旭市環境部)
 水田聖雄氏(尾張旭市環境部)



2010/11/13

プロジェクターを
 使った、パワー
 ポイントの説
 明は参加者
 に好評でも
 一時間かほ
 らしたと云
 っている。
 子供達はどう
 うな経験
 体験から感性
 を育むことが
 できる。



2010/11/13

▲終了後スタッフ全員と講演の先生達。
 コレクターの制作は、
 非常に理解し易い、
 工夫を凝らした、
 非常に理解し易い、
 工夫を凝らした、
 非常に理解し易い、
 工夫を凝らした、



2010/11/13